

都道302号線（靖国通り）の街路樹の更新について

東京都では、都道における歩行者や車両の安全性や快適性を確保するため、街路樹診断を計画的に実施し、樹木の健全な育成や不健全木を更新するなど、適切な維持管理に取り組んでいます。

1. これまでの経緯

当該路線の街路樹については、令和5年度に街路樹診断を実施し、令和7年度に改めて街路樹診断を実施いたしました。その結果、靖国通り（市ヶ谷駅～九段下駅間）のサクラ18本については、不健全と判定されました。理由は、樹木医が実施した、外観診断や機器診断による樹木診断において、樹勢の衰退や腐朽等が確認され、総合的な判断により不健全として判定されたものです。

不健全木は倒木や幹折れ等の危険性があるため、歩行者や車両の安全確保の観点から更新することとし、伐採作業を行いました。



2. 今回伐採した樹木（例）



※茶色く変色した部分が腐朽しています。

3. 今後について

今回伐採した箇所については、今後、新たなサクラを植栽する予定です。